

ベイビーブー



「声」だけで魅せる唯一無二のコーラス・エンターテイメントグループとして2002年メジャーデビューし20年目を迎えた。

2011年から新宿の「うたごえ喫茶ともしび」に通い始め、今までに「うたごえ喫茶アルバム」シリーズを「ともしび」監修のもと5作発売。オリジナル曲「花が咲く日は」が「うたごえ喫茶ともしび」の年間リクエストランキングで2年連続で1位を獲得し話題に。また、ポニージャックス、由紀さおり、川中美幸のコンサートにもゲスト出演し、童謡100周年の2018年からは小田原童謡大使に任命されている。

近年はディズニー映画「ライオン・キング」プレミアム吹替え版へのコーラス参加や、TVの音楽番組に多数出演し、「日本武道館で1万人の大合唱祭を行う」という目標を掲げ、全国各地でコンサートを開催している。

2022年に最新両A面シングル「別れの曲」「列車にのろうよ」をリリース。

【レギュラー番組】

■NHK R1「らじるラボ」毎週金曜11時台(2022年4月～2022年9月)

■BS朝日「人生、歌がある」毎週土曜19時～レギュラー出演中

■BS日テレ「そのとき、歌は流れた」毎月第2第3水曜20時～全放送に出演中

【メンバー】(左から)

ケン(バリトン)、シノブ(トップ・テナー)、チェリー(リード・テナー)

ユウ(ベース)、ユースケ(テナー)

清水正美 (ソプラノ)

ともしびの中心的歌手。声楽を大倉由紀枝氏(二期会)に長く師事。日本の歌・オペラアリアからシャンソン・ポピュラーなど、その幅広いレパートリーと説得力のある歌唱には定評がある。「金子みすゞ作品集」(大西進作曲全512遍)全曲連続コンサートに2度取り組み、ライフワークの一つとした。

CD「清水正美の世界1～7」を含め、ソロCD多数。近年、男声ア・カベラグループ「ベイビーブー」との共演の機会を増やし、ともしびの公演活動の幅を広げ、「三世代で歌い交わす」を提唱するCD「虹 七色の声に囲まれて」を出版。「ともしび合唱団」講師。



ひろせめぐみ (ピアノ)

洗足学園音楽大学クラリネット専攻・中退。国立音楽院音楽療法学科卒業。現在は、歌声喫茶ともしびや地域で伴奏ピアニストとして活動。ピアノの他、アコーディオンやウインドシンセサイザーEWI5000でも伴奏している。

「みんなで歌うを人と社会に役立つ形に」をテーマに、地域や福祉の場で「歌声喫茶コミュニティ(生の伴奏でみんなで歌い楽しく集える場)」の普及をめざしている。

うたごえ伴奏法や歌声喫茶コミュニティ実践の情報を、ブログ「うたごえな日々」(<https://uta-goemeg.com/>)で発信。



田口順子 (ピアノ・アコーディオン)

東京都調布市出身。アコーディオンを土生英彦(はぶ ひでひこ)氏に師事。ともしびの子ども向け作品及び「うたごえ喫茶ともしび」の中心的伴奏者。愛器を抱えて、日本各地にとどまらず、カナダ・中国・ベトナム等海外へも身軽に飛んでいく。



寺谷 宏 (テナー・司会)

1958年大分県豊後高田市生まれ。九州を転々とし、大自然に囲まれて育つ。法律家を目指し東京大学法学部に在学中に「うたごえ喫茶ともしび」に出会い、またたくまに魅了され、1988年入社。声楽家水野賢司氏(東京音楽大学教授)に師事し24年。ロシア民謡・ドイツ歌曲・日本歌曲・童謡からオペラアリア・カンツォーネ・シャンソンまで幅広いレパートリーを持つ。

うたごえ喫茶ともしびの中心的歌手・司会者として、高田馬場にある店の他、全国の出前うたごえ喫茶で公演。2000年より、ロシア・ラトヴィア・リトアニア・カナダ・デンマーク・ドイツ各国とのうたごえ交流ツアーを企画・同行。2018年には18年ぶりとなるバルト三国ツアーを成功させ、リトアニア「歌の祭典」にも参加。ともしび合唱団講師もつとめた。

主なCD:「黒い瞳 ～平和とロマンを歌う～」

* 広島平和資料センター・沖縄県立図書館所蔵

* NHKラジオジャーナル、ラジオ深夜便にて収録曲放送。「ハンセン病裁判闘争の歌うばったのは誰」

